

いわた池女子駅伝大会 本町選手も健闘



レースを終えて笑顔の選手たち

第12回いわた池女子駅伝が、12月23日（木）薩摩川内市祁答院町の蘭牟田池で開催されました。県内各地から18チーム参加し、健脚が競われ、鶴田町は健闘し昨年10位から2つ順位を上げ、8位（1時間2分15秒）でゴールでした。優勝は、56分53秒の大会新記録で薩摩川内市の川内チームでした。本町出場選手（敬称略）久保美緒、西之園千秋、下大迫真未、西之園美穂、大窪清美

薩摩地区葉たばこ播種 順調な発芽を願って

薩摩地区の葉たばこ播種が1月27日（木）柏原の共同育苗施設で行われ、地区内から生産者をはじめ関係者約60人が参加しました。

川薩地区葉たばこ振興会長のあいさつの後、施設内に用意された苗床に関係者が種をまく作業が行われました。

種をまいたものは、町内の11戸の農家をはじめ、川薩地区1市3町の生産者に配布され、地区内の72ha（町内では約17ha）で栽培されます。



関係者による種まき

鶴田中学校 竹ぼうきうまくつくれたよ



高齢者の指導を受けて竹ぼうき作る中学生

鶴田中学校のふれあい竹ぼうきづくりが、1月26日（水）行われました。これは、高齢者とふれあうことを目的として行われているもので、今年で23回目を迎えます。

今年は、16人の高齢者が参加し、指導されました。生徒たちは、材料をそれぞれ持参し、手伝ってもらいながら竹ぼうきを作りました。はじめは要領が分からずなかなかうまくいかないようでしたが、それでもみんな自分だけの立派な竹ぼうきを完成させました。

さつま地区認定農業者交流会 県知事と意見交換会を開催



知事に質問する参加者

第6回さつま地区認定農業者交流会が1月21日（金）中央公民館ホールで開催され、宮之城町、薩摩町、鶴田町、薩摩川内市祁答院町の認定農業者と関係機関職員約200人が参加しました。

会では、はじめに鶴田町認定農業者会長の久保秀司さんが「市町村合併が進む中、農業に対する知事への考えを直接聞きたかった。」とあいさつし、その後、伊藤祐一郎鹿児島県知事との意見交換会が行われました。参加者からかごしまブランド確立運動の推進、田の排水対策などの問題、また高校再編の問題など多くの意見や質問が出されました。

鶴風の会 たこあ 凧揚げを楽しむ

鶴風の会による凧揚げ大会が、1月1日（土）神子橋下流の河川敷で行われ、約20人が参加し凧揚げを楽しみました。この凧揚げ大会は、鶴風の会の主催で今年で3回目の開催になります。当日は、風が少なく走って凧を揚げていましたが、時々風が出て鶴風が空に舞うと参加者から大きな歓声が上がっていました。

鶴風の会は、青森県鶴田町との交流をきっかけに結成され、地元の竹を生かして鶴風の製作に励んでいます。



大空を優雅に泳ぐ鶴風

文化財を守ろう 稲留神社で放水訓練



放水を行う神子分団員

神子区の稲留神社で放水訓練が、1月26日（水）行われました。これは、この日が「文化財防火デー」に定められており、それに合わせて実施されたものです。

はじめに中央公民館の防火上の安全点検等を行い、その後、稲留神社付近の山林で火災が発生したという想定で放水訓練が行われました。訓練は、神子分団が実際消防車庫から出動し放水を行い、実際の場合と同じように行われました。